学校番号	1205

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	（学）実践日本語Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本語の４技能「読む」「書く」「聞く」「話す」の実践的な運用能力を高めます。
日本語の文章を読み、様々な課題について考え、自分の意見を話したり、書いたりします。
プレゼンテーションやレポートなどを通して、場面に応じた日本語を実践的に学びます。
多文化共生社会の実現のために地域と協力してできることなど、自分たちができることを考えます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
初中級レベルの日本語の言語知識を身につけ、活用できる。
【思考力、判断力、表現力等】
日本語で書かれた様々な文章を通して、内容を理解し、自分の考えを日本語で表現力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な文章を読み、自分と社会をつなげて考える視点を身につけ、自己理解、他者理解を深めることができる。
私たちが暮らす世界や社会において、課題を発見する力や、調査、分析を通して解決していこうとする力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・初中級の日本語の文法や語彙、漢字の読みと意味を理解し、使うことができる。 ・場面に応じて日本語を適切に活用できる。	・様々な文章に触れ、他者理解、自己理解を通して自身の考えを深めることができる。 ・プレゼンテーションや作文、レポートで自分の考えを書いたり、話したりすることができる。	・他者の立場や考えを理解し、他者の視点に立って考える姿勢を身につける。 ・自己に対する理解を深め、他者と自己を尊重する態度を身につけ、積極的に学んでいく姿勢を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	新聞記事などを読む1	生教材の生きた日本語を読み、内容を理解する。文章を通して自分の考えを他者に伝え、互いの考えを聞き、レポート作成を行う。	a:初中級の日本語文法・文型について理解し、使うことができる。初中級の日本語の漢字の読みができる。 b:初中級の日本語文法・文型を適切に使うことができる。 c:日本語で積極的に表現しようとしている。	課題 テスト	課題 発表 テスト	課題
		生教材の文章を読み、他者と互いに考えたことを伝え合う。また、様々な視点から課題を見つけ、自分の意見を日本語で発表したり、レポートを作成したりできる。		課題 テスト	課題 発表 テスト	課題
2	自分を表現する	文章や話し合いから自分の考えをまとめ、日本語で内容をまとめる。 レポート作成やプレゼンテーションを行い、相手を意識した効果的な表現方法を考える。 母文化の紹介を通して、自己についての理解を深める。	a:初中級の日本語文法・文型について理解し、使うことができる。初中級の日本語の漢字の読みができる。 b:初中級の日本語文法・文型を適切に使うことができる。 課題をみつけ、それについて自分の考えを伝えることができる。 c:日本語で積極的に表現しようとしている。	課題 テスト	課題 発表 テスト	課題
				課題 テスト	課題 発表 テスト	課題
3	自分の考えを伝える	レポート作成やプレゼンテーションを行い、相手を意識した効果的な表現方法を考える。 母文化の紹介を通して、自己や他者についての理解を深める。	a:初中級の日本語文法・文型について理解し、使うことができる。初中級の日本語の漢字の読みができる。 b:相手を意識して効果的な伝え方を考え、日本語で表現することができる。 c:日本語で積極的に表現しようとしている。	課題 テスト	課題 発表 テスト	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度